

第4回戦没者遺骨収集における同位体分析の活用に係る検討会  
分析手順・データ検証等のワーキンググループ議事要旨

日時：令和6年5月10日 14:00~17:00

開催形式：WEB会議

出席者：構成員：(五十音順)覚張隆史構成員、陀安一郎構成員、米田穰構成員  
事務局：飯郷戦没者遺骨鑑定推進室長、他

議事要旨：

1. 令和5年度委託研究について

○令和5年度委託研究の結果について、報告内容が了承された。

○沖縄で収容された遺骨の古墓判定の取扱いについて検討したところ、委託研究の結果(判定基準)を基に容易に判断可能と考えられる事案については、今後は、事務局において事前に確認した結果と、該当自治体への情報提供内容等をあわせて審議することとなった。

2. 沖縄収容遺骨(古墓遺骨判別)における炭素窒素同位体比分析及び放射性炭素年代測定の適用に関する検討

○沖縄で収容された遺骨についての炭素窒素同位体比分析及び放射性炭素年代測定の効率的な分析手順等を検討したところ、委託研究の結果及び提出データの背景等を踏まえて、さらなる検討が必要となった。

3. 令和6年度厚生労働科学研究について

○令和6年度厚生労働科学研究として採択された研究の概要について、説明内容が了承された。

4. 令和6年度委託研究について

○令和6年度委託研究について、説明内容が了承された。

5. 同位体分析に関する日本MHLW・米国DPAA専門家会合について

○専門家会合の概要について、報告内容が了承された。

6. 同位体分析結果の検証等

○同位体分析結果(事案その1)について、戦没者遺骨の可能性等を検証したところ、戦没者遺骨ではないと判定できる検体は事務局判定案どおりで問題ないが、一連の試料として全体で判定するためには、検体を追加採取・分析の上でさらなる検討が必要となった。

○同位体分析結果(事案その2)について、戦没者遺骨の可能性等を検証したところ、報告内容が了承された。

○同位体分析結果(事案その3)について、戦没者遺骨の可能性等を検証したところ、戦没者遺骨ではないと判定できる検体は事務局判定案どおりで問題ないが、未分析の検体を分析及び現地の状況確認を行った上で、さらなる検討が必要となった。